

がん

に備えるべき4つのこと

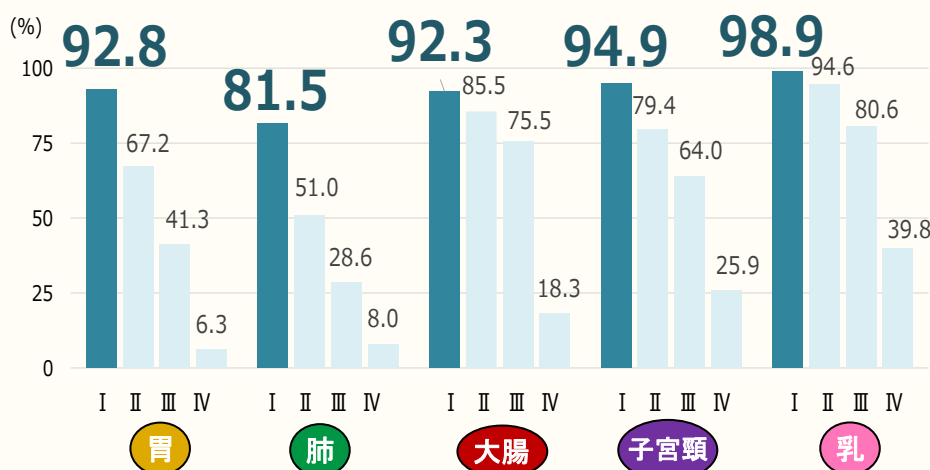
1

「がん」と「がん検診」を知る

- 和歌山県のがん罹患者は約8,500人/年、がん死亡者は約3,300人/年
- がんは、働き盛り世代の死因の第一位で、**40～60代の3人に1人が罹患**
- がん検診により1 cmから2 cmの間に**早期発見し、治療することが重要**

がんのステージ別 5年相対生存率

出典：国立がん研究センターがん情報サービス「院内がん登録生存率集計」2014-2015年



がんの成長と時間

がん細胞の発生！

10～20年かけて成長
(発見しづらい)

1 cm

わずか1～2年で成長
(早期がんの期間)

2 cm

早期発見・治療で
ほとんどのがんは治る！

症状が出たときには既にステージが進んでいることも！

早期発見のためには、定期的ながん検診が不可欠です。

2

求められる企業のがん対策

がん対策で企業に求められる2大使命

1. がん検診受診率アップ

2. 治療と仕事の両立支援

職場での
がん対策の
メリット

- がんでの離職者が減り、治療費も抑えられる
- 社員の健康に配慮した会社として、人材採用力の向上が期待
- 仕事と治療の両立支援により社会的地位が高くなり、従業員の満足度が上がる

がん検診を受けられるよう 休暇の取りやすい職場づくり も大切です

3

社内でのがん検診の進め方

定期健康診断とは別に「がん検診」を実施していますか？

NO

YES

●実施方法例

- ・検診機関とがん検診を契約している
- ・検診費用を従業員に還付している など

ご加入の健康保険組合が人間ドックやがん検診を提供していますか？

YES

NO

受診を勧めましょう

市町村が実施しているがん検診の受診を勧めましょう

これからもがん検診の受診を勧めましょう



市町村のがん検診窓口

国が推奨する5つのがん検診

検診種別	検査方法	対象年齢	受診間隔
胃がん検診	胃内視鏡検査	50歳以上の男女	2年に1回
	胃部X線検査	40歳以上の男女	毎年
肺がん検診	胸部X線検査	40歳以上の男女	毎年
大腸がん検診	便潜血検査	40歳以上の男女	毎年
子宮頸がん検診	細胞診	20歳以上の女性	2年に1回
乳がん検診	マンモグラフィ	40歳以上の女性	2年に1回



何からはじめたらいいのか
補助金はないのかな

- まずは、**がん啓発の担当者を決めましょう**
- 従業員やその家族の**受診状況を把握しましょう**
- 協会けんぽに加入している会社には**補助制度あり**

4

社員のがんリテラシーを高める

がんに正しく備えるためには、がんやがん検診に関する正しい情報を集め、理解・活用する能力(リテラシー)を高めることが大切です。社員のがんリテラシーを高めて、その家族や大切な人にも共有し、みんなでがんに備えましょう。

【がんはどうやってできるの？】

- 私達の体は、細胞分裂により日々新しく生まれ変わっていますが、新しく細胞が生まれる際、一部の細胞に変異が起こり、必ずがん細胞も生み出されています。
- つまり、**がん細胞は、健康な人の体でも多数生まれています(およそ1日5,000個)**が、皆さんの免疫細胞が日々死滅させているのです。
- ただし、死滅しきれず運悪く生き残ったがん細胞は、やがて塊としてのがんになっていきます。



あなた、いま、
目があいましたね？

その時がチャンス！



人生 100 年時代を生き抜くには
“がんのひみつ”を知ることが重要です

← “がんのひみつ”はこちら

出典：がん対策推進企業アクションHP

和歌山県 福祉保健部 福祉保健政策局
健康推進課 がん・疾病対策班
TEL 073-441-2640

令和7年11月作成

働く人ががんを知るクイズ

がんについて詳しくなる5つのクイズを公開中。
ダウンロードのうえ従業員の皆さんに共有いただき、
社内のがん検診啓発にご活用ください。



県 庁 H P